製造業と ディープラーニング

株式会社 Preferred Networks 西川 徹

# IoTの普及による デバイスの進化

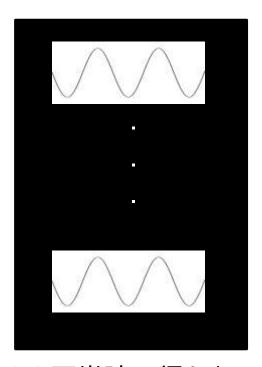
X

人工知能の進化

X

分散協調型の 新しいコンピューティング

#### 特許出願済

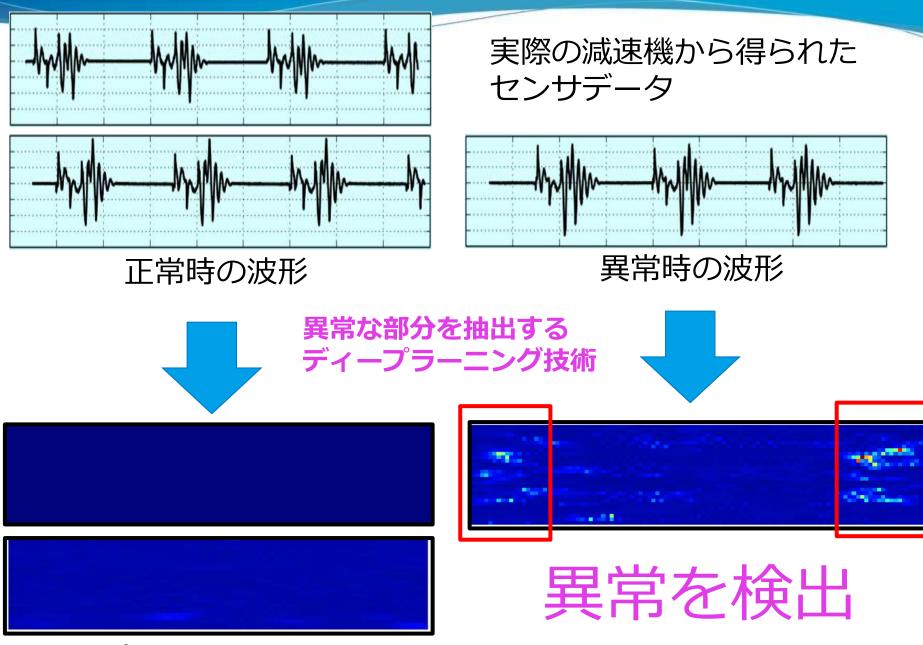






- (1)正常時に得られ たデータのみを 用意
- (2) ディープラーニングで (3) 学習したモデル 異常判定モデルを学習
- を使い異常かを判定

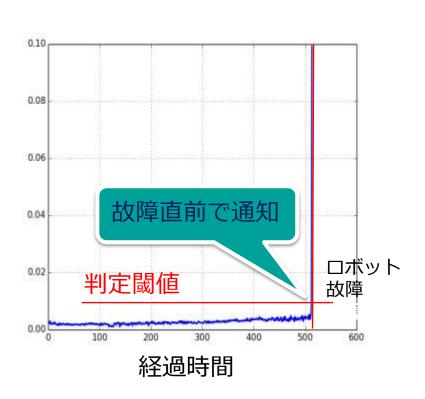
# ディープラーニングを使った異常検知

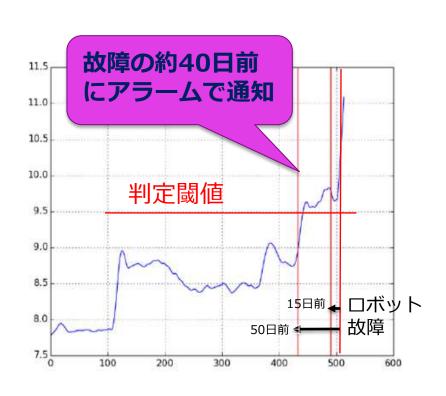


異常は発見されない

### 既存手法

## 新手法

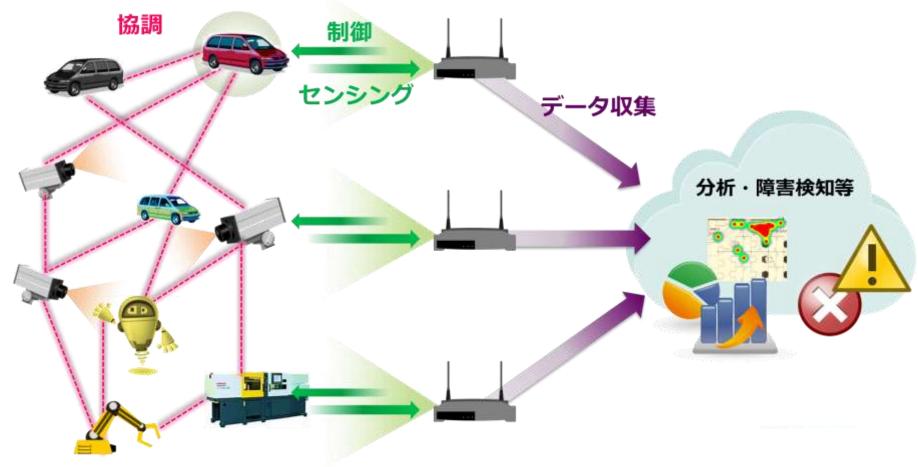




既存手法で検出が遅かった異常を事前に検出

#### センシング → コントロール・アクション

IoTデバイスはセンシングだけではなくリモートでのコントロール・アクション を実現する



# デモンストレーション



#### IoTによる製造業の高度化:インダストリー4.0

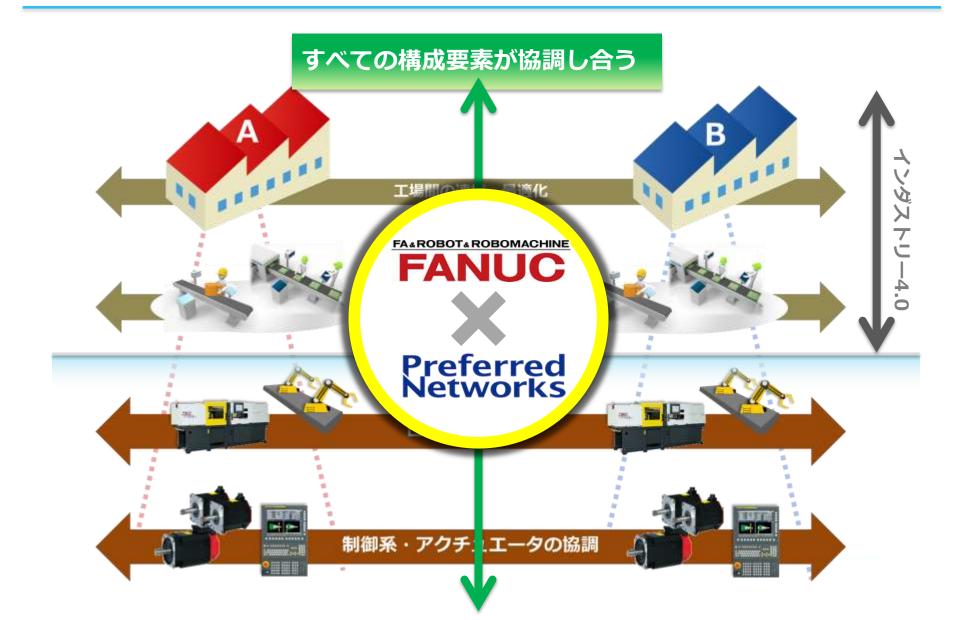




#### 超インテリジェントなManufacturing System



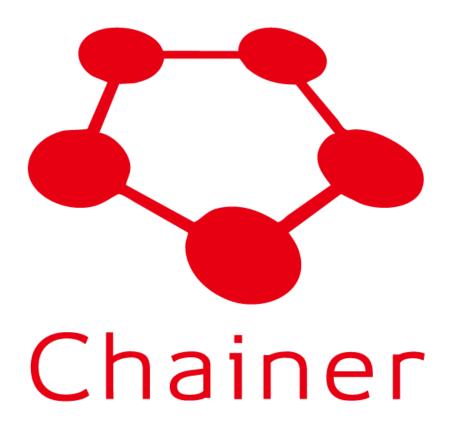
#### 製造業のすべての構成要素へ、協調・連携を拡張する



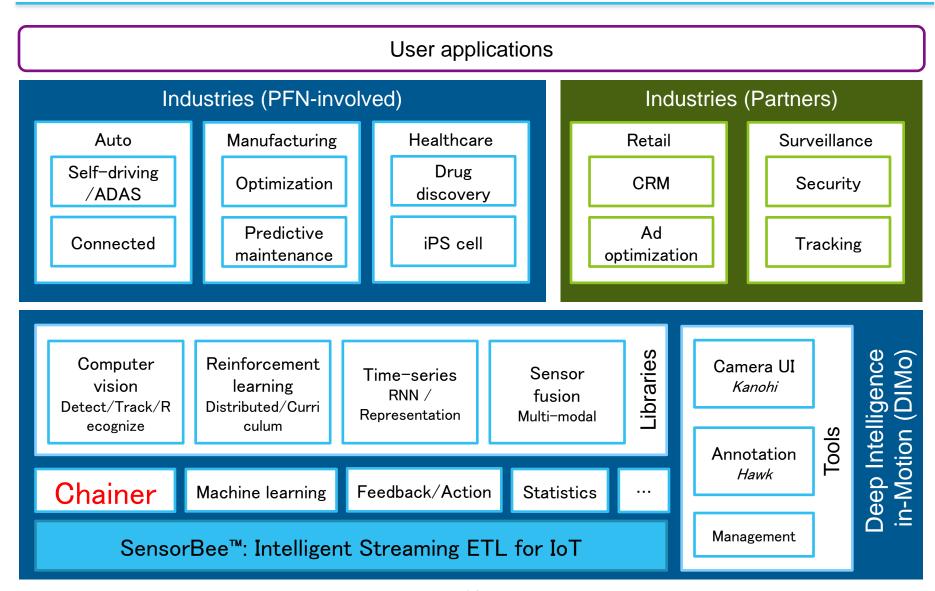
# ディープラーニングの活用

#### Chainer: 2015/6/9 Release

A Powerful, Flexible, and Intuitive Framework of Neural Networks



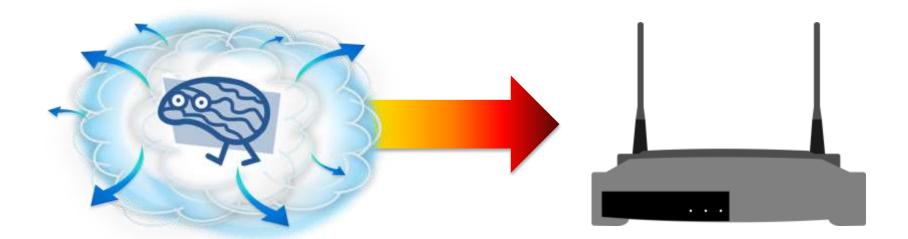
#### DIMo: Building Applications on Add-ons



### Deep Intelligence in Motion

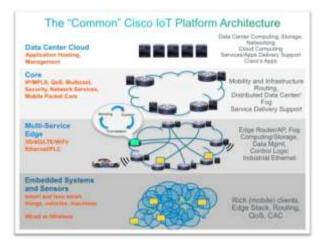
### PFN's Deep Intelligence

#### **Network Devices**



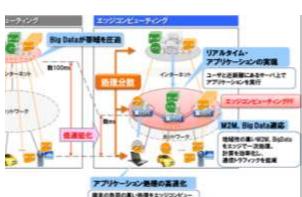
#### クラウドコンピューティングから新しいコンピューティングへ

#### 1.Fog Computing



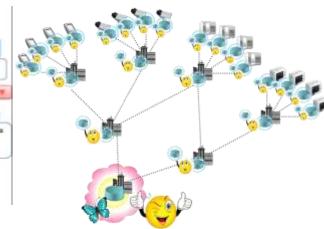
http://www.cisco.com/web/about/security /intelligence/iot\_framework.html

#### 2. Edge computing



http://www.ntt.co.jp/news2014/1401/1 40123a.html

#### 3. Edge-Heavy Computing



「収集できるデータ量」ではなく「学習できるデータ量」を最大化 ⇒ディープラーニングの価値の増大

#### レイテンシを最小化

⇒デバイス同士のリアルタイムな協調

#### データ利活用における課題

- セキュリティやプライバシの課題は、製造業でも重要
  - 開発中の製品についての重要な情報が含まれる
  - Industry 4.0でも、その部分が課題になっている
  - その上で足並みをそろえるのは大変
- 足並みをそろえるのではなく、誰かが主導しないと進まない
  - 標準化やコンセンサスをとっていたら、競争に勝てない
  - 製造業においては、すぐにでも人工知能技術が急速に普及するだろう。その中で、競争はさらに激化する
- データ利活用を本当に実現するためには、データ活用のための明確な戦略とトップレベルのコミットメントが必要
  - 多くの企業が、これからデータをどう活用しようか、という段階。ますます差は広がってしまう。

#### その他(政府への要望事項等)

- 政府として支援する分野は、慎重に吟味してほしい。
  - 可能性を妨げてしまうことはよくないが・・・
  - 人命に関わる部分は、特に、技術的な精査も必要であるし、安全性の評価が重要
    - ◆ IoTでは、環境も多様化する。検証も、これまでのITシステムよりも桁違いに大変になる。
  - インフラとデバイスが協調して安全性を高めることも重要となるだろう
    - インフラの整備への投資をお願いしたい

Copyright © 2014-

Preferred Networks All Right Reserved.

